

採火イベント

「豊田市の火」が聖火になる!

愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会採火イベント

日時

10月13日 火

午前9時30分～10時(終了予定)

場所

豊田市博物館

(豊田市小坂本町5-80)



観覧自由

タイムスケジュール

9:30

開会・ステージパフォーマンス

インドネシア民族舞踊、歌唱ステージ

9:40頃

【採火式】

グリーン水素と豊田市の間伐材を使った点火
インドネシア民族楽器「アングルン」の演奏

9:50頃

【聖火リレー】

豊田市を代表する5名のランナーによるリレー

竹内 厚志 (たけうち あつし)さん

: 車いすバスケットボール

岐部 健太 (きべ けんた)さん

: 三木拓也選手(車いすテニス)車いす開発担当

心眼ソングライター若渚 (わかな)さん

: 歌手

ムル ヨノさん

: とよた国際市民ネットワーク代表

金山 祥大 (かなやま しょうた)さん

: 豊田市立豊田特別支援学校

10:00頃

終了予定

大会詳細は豊田市HPを
ご覧ください。 >>>



イベント内容



「豊田市の火」採火式



豊田市が目指す「世界で一番水素をつかえるまち」と豊田市の約7割を森林が占める「森林都市」を象徴するグリーン水素と間伐材を使った豊田市の火を点火して採火します。

【協力】トヨタ自動車株式会社

採火した火は名古屋市内へ運ばれ、10月15日（木）の集火式でアジアパラ競技大会聖火となります。

【グリーン水素】太陽光や風力などの再生可能エネルギーにより、CO₂を一切排出せずに製造した水素

【間伐材】森を健康に保つため、混みあった木を間引きする「間伐」をしてできた木材

♪ 大会テーマソングのアンクルン演奏 ♪

採火式と聖火リレーに合わせ、インドネシアの伝統的な民族楽器「アンクルン」を会場で演奏します。

●演奏曲「祝祭交響曲 - あいち・なごやスポーツ応援ソング 第三楽章祝典賛歌」（葉加瀬太郎/2023年）

●監修 鈴木 祥隆氏 岐阜大学教育学部学校教育教員養成課程 特別支援教育講座 助教

アルディアン・スマルワン (Ardian Sumarwan) 氏 インドネシア教育大学 主席アンクルン奏者

※アンクルン：インドネシアの伝統的な竹製の打楽器で、2010年にはユネスコの無形文化遺産に登録されています。

👤 民族舞踊ステージ 👤

出演：一般社団法人TIG（豊田インドネシアグループ）

【Tari Piring】タリ・ピリン／皿踊り

ミナンカバウ民族に受け継がれてきた西スマトラ州発祥の伝統舞踊。

豊かな収穫への感謝の気持ちを神に捧げる踊り。



華やかな
インドネシアの
民族舞踊を
お楽しみください。

🎤 歌唱ステージ 🎤

出演：心眼ソングライター 若渚さん

愛知県在住。生まれつき全盲。

小学5年生から音楽活動始める。

各種メディアに出演するほか、

ボランティアとしても各地で歌う。

あん摩・マッサージ・指圧師の

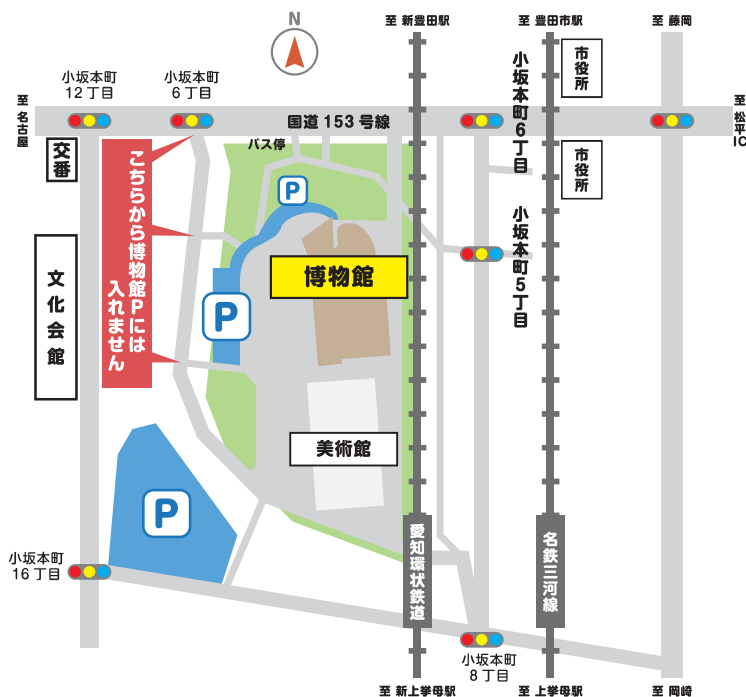
国家資格を持ち、歌とマッサージを

両立しながら、現在はパラ競技の

陸上にも取り組む。



📍 会場までのアクセス 📍



バスでお越しの方

・名鉄豊田市駅より53～55系統
衣ケ原・三好・赤池駅方面「美術館北」バス停下車徒歩約3分

電車でお越しの方

・名鉄豊田市駅、愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩約15分

お車でお越しの方

・東名高速道路 豊田 IC から約15分（駐車台数に限りがあります）